



多摩市立瓜生小学校

瓜生小だより



令和5年度 第3号
令和5年 6月1日

学ぶ喜びのある授業づくりをめざして

校長 水野 裕司

今年は、天候とグラウンド状況のため1日順延となりましたが、5月21日(日)に無事に第28回運動会を開催することができました。保護者の皆様には、当日の応援だけでなく、日頃の体調管理などでも子供たちの頑張りを支えていただきましたことに感謝申し上げます。

これまでは雨で練習が十分にできなかったということは、よくありました。しかし、今年は暑さのため練習を短時間で切り上げざるを得ないという状況がありました。そのような中でしたが、子供たちは、一生懸命練習し、その成果を存分に発揮してくれました。5, 6年生の表現は、題材から子供たちが選びました。様々な候補から、最後はディズニーとハリポッターが残り、話し合いの結果、「THE WIZARDING WORLD OF Harry Potter」となりました。各場面での表現方法も子供たち自身が考えました。本番直前まで工夫をこらす子供たち、その様子を我慢強く見守りながら指導する担任二人。まさに子供たちと教員が力を合わせて創り上げた表現活動でした。また、運動会後の5年生からは、6年生のリーダーシップのおかげで成功させることができたという声がたくさん上がっていたそうです。

この2年間、総合的な学習の時間において、子供たち自身が課題を見つけ、計画を立てて学習を進めることに力をいれてきました。その成果の一端が、運動会にも表れていたのではないかと考えています。

さて、大きな行事が終わり6月は、落ち着いて学習に取り組むたいと考えています。そこで、授業を計画するとき学校で大切にしている3点を紹介します。

① 「めあてと見通し」

知りたい、やってみたいという目標をもち、それを達成するための方法が分かると、子供たちは自分でどんどん学び始めます。教員がねらっている目標と子供の関心が

一致すると最高ですが、これが本当に難しいところでは。試行錯誤の毎日です。

② 「自力解決と学び合い」

自分で調べたり考えたりする時間をしっかり確保します。自分で発見したり考えたりしたことがあると、子供は誰かに聞いてもらいたくてうずうずしてきます。そのチャンスを逃さないように、調べた知識を広げたり、考えたことを深めたりできるように子供同士の交流の場をつくりま

③ 「まとめと振り返り」

授業の最後に学んだことをしっかり言葉で書き記すことで整理します。また、学習内容の理解度、取り組んだ方法、もっと知りたいことなどについて振り返り、次の授業に生かすようにします。

子供たちが、「分かった。」「できた。」という学ぶ喜びを感じることでできる授業をつくるように努めてまいります。

また、6月26日から7月7日までの2週間は、瓜生小学校の読書週間です。期間中の7月1日には、多摩市立中央図書館が新たに開館し、記念式典が行われます。多摩市の小学生の代表として、6年生の遠藤斎紀さんが参加し、テープカットを行うことになっています。瓜生小からは、少し遠いのですが、新しい図書館を存分に活用して、たくさんの本に触れてほしいと思っています。

更に、保護者や地域の方のご協力による読み聞かせも毎週金曜日に行っています。5月の新型コロナの5類への移行を機に、読み手の方もマスクを外し、表情豊かに読み聞かせをしてくださっています。活字に慣れ親しみ、読む力を高めることで、子供たちは自分で読書の世界を広げていきます。読書週間を活用し、ご家庭でも本を読む「空間(雰囲気)」と「時間」を是非つくっていただければと思います。